2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ピクスタ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3416　　ＵＲＬ　https://pixta.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）古俣　大介
問合せ先責任者　（役職名）取締役コーポレート本部長　（氏名）恩田　茂穂　　ＴＥＬ　03（5774）2692

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,747	△8.6	△58	－	△44	－	71	6.6
2025年12月期第３四半期	1,910	△13.2	101	△78.0	99	△78.1	66	△79.0

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　56百万円（△11.1%）　2025年12月期第３四半期　63百万円（△79.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	40.99	40.91
2025年12月期第３四半期	38.45	38.32

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,388	1,191	47.5
2025年12月期	2,406	1,205	47.4

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,133百万円　2025年12月期　1,140百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	45.00	45.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
配当予想の修正については、本日（2026年11月13日）公表いたしました「配当予想の修正（記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,877	8.0	163	8.0	166	16.4	105	14.3	61.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、短信添付資料の7ページ「2.（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	2,296,640株	2025年12月期	2,296,640株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	562,618株	2025年12月期	562,618株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	1,734,022株	2025年12月期３Ｑ	1,734,007株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料の3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（四半期連結損益計算書に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価高を背景に家計の節約志向が根強く、個人消費の持ち直しは緩やかなものにとどまっており、中東情勢や自然災害の影響、為替・金融資本市場の変動などを受け、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、スマートデバイス、スマートフォン（以下、スマホ）アプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）に投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。加えて、ライフイベントごとの撮影機会の増加やSNSでの写真共有の増加に伴い、個人の撮影サービス市場は拡大するとともに、顧客ニーズは多様化しております。また、画像認識に関する機械学習については、深層学習技術の発展等によりその精度は向上し続けており、自動運転・セキュリティ分野などの様々な分野での活用が加速していくなかで、学習データの重要性は高まっております。さらに、近年ではAIを用いた自動画像生成等の技術革新が進んでおります。

このような状況の下で、当社グループは「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念の下、主にデジタル素材マーケットプレイス「PIXTA（ピクスタ）」、出張撮影プラットフォーム「fotowa（フォトワ）」を運営してまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,747,111千円（前年同四半期比8.6%減）、営業損失は58,111千円（前年同四半期は営業利益101,721千円）、経常損失は44,550千円（前年同四半期は経常利益99,646千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は71,076千円（前年同四半期比6.6%増）となりました。営業損失及び経常損失となりましたのは、PIXTA事業の減収によりセグメント利益が減少したことに加え、株式会社YASUMI WORKSの連結子会社化に伴う費用の増加等により、その他の事業の損失が拡大したことによるものであります。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、のれん償却額79,660千円を特別損失に計上したものの、投資有価証券売却益273,056千円を特別利益に計上したことにより、前年同四半期を上回りました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①PIXTA事業

PIXTA事業において、定額制の月間購入者数累計は、少量ダウンロードプランの利用ユーザーが減少したこと等により、93,196人（前年同四半期比10.0%減）となりました。また、単品の月間購入者数累計は、ライトユーザーの離脱が影響したこと等により、46,927人（前年同四半期比28.9%減）となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は1,258,169千円（前年同四半期比16.7%減）、うち定額制売上高は、860,703千円（前年同四半期比10.2%減）となりました。また、セグメント利益は、474,193千円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

②fotowa事業

fotowa事業においては、2025年５月に実施したサービスのリニューアルに伴う販売価格の値上げの影響により、累計撮影件数は8,306件（前年同四半期比35.2%減）となりました。一方、2026年３月の販売価格の改定以降、撮影件数は回復傾向にあります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は229,191千円（前年同四半期比21.4%減）となりました。また、セグメント損失は、人件費及び広告費の抑制により61,671千円（前年同四半期はセグメント損失88,984千円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18,162千円減少し、2,388,280千円となりました。

これは主に、現金及び預金が184,729千円増加した一方、無形固定資産が90,378千円、売掛金が68,110千円、流動資産その他が49,037千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ3,541千円減少し、1,197,012千円となりました。

これは主に、契約負債が71,575千円、未払法人税等が23,605千円増加した一方、買掛金が54,132千円、流動負債その他が22,698千円、未払金が20,535千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ14,621千円減少し、1,191,268千円となりました。

これは主に、新株予約権が6,544千円増加した一方、利益剰余金が6,954千円、非支配株主持分が14,653千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は47.5%（前連結会計年度末は47.4%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年２月13日に公表した通期業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,508,007	1,692,737
売掛金	535,204	467,093
その他	172,426	123,388
貸倒引当金	△726	△427
流動資産合計	2,214,911	2,282,791
固定資産		
有形固定資産	9,424	7,390
無形固定資産	162,713	72,334
投資その他の資産	19,393	25,762
固定資産合計	191,531	105,488
資産合計	2,406,443	2,388,280
負債の部		
流動負債		
買掛金	446,282	392,149
１年内返済予定の長期借入金	181	181
未払金	73,355	52,819
未払法人税等	35,992	59,598
契約負債	525,831	597,407
賞与引当金	3,971	2,780
その他	114,334	91,635
流動負債合計	1,199,949	1,196,573
固定負債		
長期借入金	604	439
固定負債合計	604	439
負債合計	1,200,553	1,197,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,437	332,437
資本剰余金	322,389	322,389
利益剰余金	1,023,659	1,016,704
自己株式	△540,531	△540,531
株主資本合計	1,137,954	1,130,999
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,280	2,723
その他の包括利益累計額合計	2,280	2,723
新株予約権	46,216	52,760
非支配株主持分	19,438	4,784
純資産合計	1,205,889	1,191,268
負債純資産合計	2,406,443	2,388,280

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,910,946	1,747,111
売上原価	818,526	774,371
売上総利益	1,092,420	972,739
販売費及び一般管理費	990,698	1,030,850
営業利益又は営業損失（△）	101,721	△58,111
営業外収益		
受取利息	1,465	1,631
為替差益	－	2,118
債務免除益	－	7,506
受取手数料	945	853
その他	548	1,455
営業外収益合計	2,959	13,566
営業外費用		
支払利息	29	5
為替差損	2,192	－
支払手数料	2,812	－
その他	0	－
営業外費用合計	5,034	5
経常利益又は経常損失（△）	99,646	△44,550
特別利益		
固定資産売却益	147	－
投資有価証券売却益	－	273,056
特別利益合計	147	273,056
特別損失		
固定資産売却損	32	38
のれん償却額	－	※ 79,660
特別損失合計	32	79,699
税金等調整前四半期純利益	99,762	148,806
法人税等	34,318	92,090
四半期純利益	65,443	56,715
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,227	△14,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,670	71,076

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	65,443	56,715
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,482	150
その他の包括利益合計	△1,482	150
四半期包括利益	63,961	56,865
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,091	71,518
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,130	△14,653

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結損益計算書に関する注記）

※（のれん償却額）

「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」（企業会計基準委員会　移管指針第４号　2024年７月１日）第32項の規定に基づき、当社の連結子会社である株式会社YASUMI WORKSののれん償却額79,660千円を特別損失に計上したものです。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費の償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	21,025千円	21,475千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,509,526	291,601	1,801,127	109,818	1,910,946	－	1,910,946
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,509,526	291,601	1,801,127	109,818	1,910,946	－	1,910,946
セグメント利益又は損失（△）	553,688	△88,984	464,704	△80,854	383,849	△282,127	101,721

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,258,169	229,191	1,487,360	259,750	1,747,111	－	1,747,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,258,169	229,191	1,487,360	259,750	1,747,111	－	1,747,111
セグメント利益又は損失（△）	474,193	△61,671	412,522	△188,972	223,549	△281,660	△58,111

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

報告セグメントに含まれない「その他」の区分において、当社の連結子会社である株式会社YASUMI WORKSに係るのれんの未償却残高を、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」（企業会計基準委員会移管指針第４号）第32項の規定に基づき一時に償却し、特別損失の「のれん償却額」に計上しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第３四半期連結累計期間においては79,660千円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。